**景観アドバイザー会議における意見と対応報告**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 記入日 | | 令和２年7月２日 | | | | | | | | |
| 記入者 | | 所属 | **公共建築室** | | 担当者名 | **川上** | | | 連絡先 | **０６－６２１０－９７９２** |
| 事業名称 | | ※*施設の名称及び新築・改修・改築等の別が分*かるように記載してください  **大阪府府立こんごう福祉センター（福祉型障がい児入所施設）改築工事** | | | | | | | | |
| 景観アドバイザー会議  の実施状況 | | | | 第１回 | 令和元年　９月　１３日 | | | | | |
| 第２回 | 令和元年 １１月１８日 | | | | | |
| 第３回 | 令和２年　７月　２１日 | | | | | |
| **項目** | **アドバイザーからの意見** | | | | | | | **アドバイスへの対応** | | |
| **目標設定（シート）について** | 第２回アドバイスでの意見 | | | | | | | | | |
| STEP4の記述で、前回の現地確認の経緯から下記を加えてはどうか。  ・特にアプローチからの建築物、外構等の見え方見せ方に留意して計画する。  ・現在の敷地外周部の通路を残す場合は、周辺の緑のつけ方、建築物等の見え方に配慮する。 | | | | | | | 対応状況（■対応済み、□対応不可、□検討中）  STEP4に記述の追加を行った。 | | |
| 上記に伴い、 STEP５にもアプローチの景観形成について追記してはどうか。 | | | | | | | 対応状況（■対応済み、□対応不可、□検討中）  STEP5に記述の追加を行った。 | | |
| STEP５　No6 「自然景観の保全に努める。」は、「自然景観との調和に配慮する。」としてはどうか。 | | | | | | | 対応状況（■対応済み、□対応不可、□検討中）  STEP5 NO6の記述の修正を行った。 | | |
| **周囲の建物との関係** | 第２回アドバイスでの意見 | | | | | | | | | |
| 第１回のアドバイザー会議でアドバイスされたのは、「かつらぎ・にじょう」のような中庭をそのまま作ることが望ましい、という話ではないと思う。今回の計画建物に置き換えて、どのように考えたのかを聞かせてほしい。 | | | | | | | 対応状況（□対応済み、□対応不可、■検討中）  周囲の建物とは独立して建設されるので、複数の建物による視覚的な意味での景観の形成はないが、この地域全体のテーマである障がいを持った方たちが安全に安心して生活できるまちづくりを考え、平屋の分棟型配置とし、子どもたちの居住空間を光や風、地面、緑を身近に感じられるものとした。 | | |
| 第１回アドバイスでの意見 | | | | | | | | | |
| 「かつらぎ・にじょう」と「富田林支援学校」と今回の建物が、１つの敷地の中にあるような構成だと思う。この３つを１つの施設であるとして、沿道から見たランドスケープをきちんと基本設計すべき。 | | | | | | | 対応状況（□対応済み、□対応不可、■検討中）  施設形態も用途も異なる３つの施設について、建物の色彩やランドスケープによって統一感をつくりだすよう検討していきたい。 | | |
| 近接する「かつらぎ・にじょう」では、黄色い壁によって動線の誘導を図り、全体を構成している。また、中庭（坪庭）をちりばめるなどの工夫を施している。こういった空間構造を読み取って、踏襲していくことも大切。建物の構成そのものが異なるため、全く同じものには当然ならないが、「かつらぎ・にじょう」も今回の計画建物もどちらも居住施設のため、居住施設としてのテイストで取り入れられるものは取り込んではどうか。 | | | | | | | 対応状況（□対応済み、□対応不可、■検討中）  本施設で考える子どもたちの動線の考え方が近接建物と大きく異なるので難しい部分はあるが、そこで暮らす人たちの接地性を大切とした平屋の形態及び隣棟間と屋外廊下でつくられる中庭状の部分においてある程度の近似性はあるのではないかと考えている。 | | |
| 「かつらぎ・にじょう」、「富田林支援学校」と今回の建物の3つの施設はほぼ色味がそろってくると思うので、基調色はあわせてもらいたい。そのうえでポイントカラーはそれぞれの建物で変えてもよいと思う。 | | | | | | | 対応状況（□対応済み、□対応不可、■検討中）  恵まれた自然に囲まれた建物であることから、それに馴染む色彩を取り入れていきたい。例えば黄色を帯びた土や砂の色目もその一つと考えている。 | | |
| **樹木の整理** | 第１回アドバイスでの意見 | | | | | | | | | |
| 敷地全体としてかなり樹木がうっそうとしており、今のままでは多すぎ・茂りすぎだと思う。（計画建物北側の）谷に面した緑をどう処理するか、建物内部からうまく緑を見せるといった課題もあるため、残す樹木と脱木する樹木を早い段階で整理した方がよい。 | | | | | | | 対応状況（□対応済み、□対応不可、■検討中）  既存建物の解体及び改築工事に必要な工事範囲を確保することと倒木の危険性もあので、大部分の樹木については伐採する方向で考えている。ただし一部敷地内北西～中央部の工事への影響や倒木の可能性の少なそうなものについては保存を検討したい。 | | |
| 沿道（敷地内通路）からのアプローチの部分は人の目にも触れやすいため、今の段階から樹木の計画等はしておいた方が良い。 | | | | | | | 対応状況（□対応済み、□対応不可、■検討中）  現在の鬱蒼とした雰囲気を、計画によって沿道を明るいイメージとし子どもたちの生活空間をよりよいものにする。 | | |
| 通路（建物計画地北西部の広場外周道路）や駐車場部分についても、残す樹木はどれにするのか等、検討されたい。 | | | | | | | 対応状況（□対応済み、□対応不可、■検討中）  北西～中央部の樹木について保存検討を行いたい。 | | |
| **広場・通路部分** | 第１回アドバイスでの意見 | | | | | | | | | |
| 建物周囲の通路の取り方はこれからの検討だとは思うが、建物とセットで考えてはどうか。 | | | | | | | 対応状況（□対応済み、□対応不可、■検討中）  建物から張り出したひさしなどを用いることや、手すりの意匠などにより一体的な計画としたい。 | | |
| 広場のつくりこみを考えてもらいたい。 | | | | | | | 対応状況（□対応済み、□対応不可、■検討中）  広場については運動場としての色合いもあるが、経路を含めて修景計画を行いたい。 | | |
| **建物デザイン等** | 第２回アドバイスでの意見 | | | | | | | | | |
| アプローチ景観の左側の擬木風の柵と右側の白く高いフェンスについて、木を使うことは良いが、全てを木のように見せる必要はなく、もう少しシンプルな構成とした方が良い。右側のフェンスは高くする必要があるのか疑問。色も白ではなく明度の低い目立たないものがよい。アプローチ通路の両側に全く別の要素・テイストのものを見せない工夫が必要。 | | | | | | 対応状況（□対応済み、□対応不可、■検討中）  植栽を配して手すりを極力省略する計画とする。手すりなど選定中。 | | | |
| 単に敷地の境界線にフェンスを沿わせるのではなく、必要な場所を把握して設置するべき。 | | | | | | 対応状況（□対応済み、□対応不可、■検討中）  必要且つ平坦な部分に限定して配置を行う。 | | | |
| エントランス周りの閉塞感と硬い表情をやわらげる工夫が必要。周辺の居室（事務室等）のエントランスアプローチ側の開口部を増やす、前庭を含めたエントランスとしての空間のまとまりをつくる、エントランス内部にも人の溜まれるスペースをつくり前庭部分に緑、高木等を配置して住宅の前庭のように演出する、住宅的な壁の材質感、屋外廊下の際の外構のつくり込みを工夫する等検討してはどうか。 | | | | | | 対応状況（□対応済み、□対応不可、■検討中）  エントランス周りの開口部、前庭演出などについて対応検討中。屋外廊下の外構形態について、砕石と芝及び樹木の構成を考えていきたい。 | | | |
| **建物デザイン等** | 第１回アドバイスでの意見 | | | | | | | | | |
| 建物周囲のフェンスのデザインも工夫をしてもらいたい。あまり目立たない方がよい。建物全体、庇などで横のラインが強調されているので、例えば木の手すりをとおすなど、横のラインを強調するようなデザインとしてはどうか。 | | | | | | | 対応状況（□対応済み、□対応不可、■検討中）  フェンスデザインについても統一感のあるものを計画していきたい。 | | |
| 周辺に樹木が多いため、庇などに落葉が溜まり、日常の管理に支障が出ないよう、ディテールの工夫が必要。 | | | | | | | 対応状況（□対応済み、□対応不可、■検討中）  竪樋をできるだけ少なくする計画を行いたい。 | | |
| 庇で横ラインが強調されているので、それを活かすためにも、エントランス付近に設置されている柱は、赤でなく黒い方がよい。 | | | | | | | 対応状況（□対応済み、□対応不可、■検討中）  色彩及び形態についても今後の検討。 | | |
| 居住空間のため、照明は色温度の低い方が、落ち着くかと思う。 | | | | | | | 対応状況（□対応済み、□対応不可、■検討中）  居住エリアについては色温度の低い照明を採用するなど落ち着いた内観計画としたい。 | | |
| 平屋の建物のため単調になりやすいので、壁の素材の使い分けによってそれをクリアするよう検討されたい。 | | | | | | | 対応状況（□対応済み、□対応不可、■検討中）  形態も含めて単調にならないよう計画したい。 | | |
| シンボルツリーは、四季の変化を演出できるようなものであると好ましい。 | | | | | | | 対応状況（□対応済み、□対応不可、■検討中）  花や実のなる樹木、落葉樹など選定し提案していきたい。 | | |
| 駐車場、全てアスファルトとのことだが、単にラインを引くのではなく、少し素材を変える等、工夫された方が質の高いものとなる。 | | | | | | | 対応状況（□対応済み、□対応不可、■検討中）  様々な舗装材などを提案し計画していきたい。 | | |
| ヒートアイランド対策も課題になっており、車路と歩道の表情を変えられるなどすれば、歩きやすいと思う。 | | | | | | | 対応状況（□対応済み、□対応不可、■検討中）  歩道整備を行っていきたい。 | | |
| **資料について** | 第２回アドバイスでの意見 | | | | | | | | | |
| ・計画敷地のみでなく、（もっと広範囲に）周辺の景観を形成する区域の様子を示す図面があると良い。  ・隣接地の状況がわかるような資料があると良い。  ・高低差のある敷地であれば、敷地断面などで高さ関係を示した方が良い。 | | | | | | | 対応状況（■対応済み、□対応不可、□検討中）  資料追加 | | |

以上